

# 請要を撤回し引き上げの下水道料金

## 家計にズッシリ

### 利用料金を大幅引き上げ

九月和歌山定例市議会が閉会しました。今議会で和歌山市は「財政健全化策」を発表し、市民にたいしては、公共下水道使用料金を三十九%の引き上げ、都市計画税五〇%の引き上げなどの犠牲を押しつける一方で、緊急性のない「北インター建設事業費」に三〇億円の事業計画推進を図る予算案を提案しました。

私は一般質問で「公共下水道整備は生活環境整備の上からも、まったなしの事業。計画的な事業推進を図ってこなかったこと。やっと供用できるようになれば、大幅に引き上げられる。市のやっていることについていけない」「年金暮らしのなかで、数十万円も負担した。利用料金が上がる、といっても元へは戻せない」「水道料金より下水道利用料金が高くてつくなんて考えられない」との市民の声を市長に届け、撤回を求めました。市長は「財政再建に協力を」との答弁に終始しました。

### 下水道に農水を常時流入を要望

また和歌山市では雨水・家庭雑排水処理に農業用水路が利用されています。そのため農繁期は紀ノ川の農業用水が満ちていますが、農閑期は下水の流れは家庭雑排水のみとなるため、汚泥が溜まり悪臭の要因となっています。農閑期においても水質保全のため農繁期農水取水量の一割が配水されています。農閑期においても紀ノ川用水を農水の水質保全、汚泥滞留防止のためにも常時流入を国にたいして要請をすることを求めました。

市は「最善となる汚水対策について調査研究する」との答弁にとどまりました。汚泥がたまり、悪臭を放つ河川・下水浄化を図るために全力をあげたいと思います。

## 梅原地区で「オオタカ」見つかる

八月中旬、貴志地区梅原の農家で「オオタカ」が見つかりました。

「オオタカ」は絶滅危惧種に指定された野鳥で、捕獲などが禁止されています。和歌山県は以前から「オオタカ」が営巣する可能性のある鳥として指定されていましたが、鶏を捕獲する瞬間を写真に撮られたのは初めてです。私もあることが、絶滅危惧種保存のため求められている。「環境アセスメント」への指導強化を求めました。

市は「現在進められている新駅設置工事、大規模開発工事に対しては事業者が法令遵守を指導し、第二阪和国道には国に対し申し入れをする」との答弁をしました。



鶏を捕らえた瞬間のオオタカ

### 日本共産党 生活相談所

無料

何でもご相談ください。  
毎週火曜日（一四時～、十八時～）  
電話・四八〇―五四七七  
住所・和歌山市土入二四一の五  
顧問に、弁護士・税理士・行政書士  
社会保険労務士が控えています。

裏面もお読み下さい。

日本共産党和歌山市議会議員

## 渡辺忠広ニュース

2007年10月 No. 10

自宅 和歌山市木ノ本71-54

電話 073-452-5732

Mail watanabe @ naxnet.or.jp

市議団・電話 073-435-1113

日本共産党和歌山市議員団の  
2007年 9月議会での対応

賛成した議案数は22議案、反対した議案数は8議案です。

（65才以上の重度身心障害者医療費補助カットは継続審議議案となりました）

\*反対した議案は都市計画税引き上げ、下水道利用料金引き上げ議案。工事契約の高額随意契約（廃棄物処理場工事など）議案等です。

2007年10月3日  
日本共産党和歌山市会議員団

ポートピア建設のための

「市長同意の前提条件の見直し」に強く抗議します

—平成19年9月5日 政策調整会議での承認」に関して—

9月定例会議最終日の10月1日、本議会終了後、総務局長と企画部長から私たち市議団に対して「場外販売所（舟券及び馬券）設置に関する本市の基本的な考え方の見直しについて」の説明がありました。

現在の設置に関する考え方は、平成12年10月24日のものであり、この基準ではほぼ設置が不可能な条件となっていることから「地元住民や議会の意向を尊重しながら、柔軟に対応」することを目的に、「市長が同意するための前提条件」を見直したというものでした。この見直しは9月5日に市長が出席した政策調整会議で承認し9月20日に確認されたものです。

この見直しの重大な問題点は、これまで前提条件としきた地元の範囲の内「①施設設置場所が含まれる単位自治会に境界を接する単位自治会、②施設設置による影響が大きいと思われる単位自治会、連合自治会及び関係団体」を削除し、地元同意の範囲を著しく狭めたことです。そして市長が同意するための付帯条件として、「①市民生活に著しく支障をきたすおそれのない計画であること。②本市の活性化に貢献できる計画であること」を新たに設け、市長の政策決定の権限をより強化したことです。私たち市議団は、ギャンブルに頼らないまちづくりをすすめる、子どもの教育環境に悪影響を及ぼすポートピア設置に反対してきました。今回の大橋市長のポートピア設置をめざす「前提条件の見直し」は、民意への挑戦であり和歌山市政に汚点を残すこととなることを厳しく指摘し撤回を求めるものです。

また私たち市議団は、ぶらくり丁や中心市街地の活性化をめざす立場から9月14日の本議会において改めて市長に所見を質しましたが、すでに調整会議で承認されていた今回の内容を黙して語らず、本会議終了後に「説明」という議会軽視にたいして強い憤りを覚えるものであり、深く反省を促すとともに抗議するものです。

以上

# ぶらくり丁に場外舟券売場設置計画

## 大橋市長が設置条件緩和、議会無視

和歌山市は10月1日、九月定例会議を終了直後、場外販売所（舟券・馬券）設置許可条件を突然変更しました。大橋市長は9月議会の一般質問で日本共産党市議・大畑主馬議員が、本町地区に新たに場外舟券売り場（ポートピア）設置が計画されている問題を取りあげました。その時、既に設置条件緩和を決定しているながら、本議会でも常任委員会でも隠し続け議事終了後発表するという姑息な対応をしました。

## 市長に抗議文！日本共産党市議団

日本共産党市議団は10月3日、大橋建一市長に対して「議会軽視であり、地域住民の意見をないがしろにするもの」として抗議をおこないました。（抗議全文文は別項参照）

これまで設置の前提条件としてきた地元の範囲のうち「①施設設置場所が含まれる単位自治会に隣接する単位自治会、②影響が大きいと思われる単位自治会、連合自治会及び関係団体」を削除し地元同意の範囲をいちじるしくせばめ、新たに市長の権限を強めるものです。

## ギャンブルに頼らない中心市街地活性化を

中心市街地のブラクリ丁はかつてのにぎわいも失い、「シャッター通り」と言われるほどさびれています。活性化をこりもとすため、といっても場外舟券売場や場外馬券売場などギャンブルに頼らない活性化が必要です。

ポートピア建設予定地周辺道路は小・中学校の通学路です。周辺には学校や医院などもあり平穏な街が必要です。ぶらくり丁の活性化のため住民の皆さんと知恵を出しあい、ギャンブルに頼ることのない市街地活性化を取り組んでいきます。



本町地区の場外舟券売場建設予定地で